

輸送動向について（11月分）

平成27年12月

1. 輸送概況

今月は、北日本地区における発達した低気圧接近等の影響により、月全体では高速貨 20本が運休となった（前年は、高速貨 2本が運休）。

コンテナ貨物は、鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物、食料工業品が増送となったほか、エコ関連物資等が前年を上回った。

一方、北海道地区の玉葱及び馬鈴薯が市場価格下落に伴う出荷調整等により低調な農産品・青果物、新聞紙・コート紙の需要が落ち込んだ紙・パルプ、白物家電が売行き不振であった家電・情報機器のほか化学薬品及び化学工業品等が前年を下回り、コンテナ貨物全体では前年比 99.9%となった。

車扱貨物は、石油が上旬から中旬にかけての気温上昇による灯油の売れ行き不振等により、車扱貨物全体では前年比 94.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 98.1%となった

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,895	1,898	99.9%	14,648	14,173	103.4%
車 扱	733	779	94.0%	5,283	5,316	99.4%
合 計	2,628	2,677	98.1%	19,932	19,489	102.3%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	222	229	-7	96.9%
	化学工業品	176	177	-1	99.3%
	化学薬品	130	135	-5	96.5%
	食料工業品	305	297	8	102.4%
	紙・パルプ	276	282	-6	98.0%
	他工業品	133	129	4	103.3%
	積合せ貨物	222	205	17	108.3%
	自動車部品	60	59	1	100.7%
	家電・情報機器	36	39	-3	94.0%
	エコ関連物資	35	34	1	104.4%
	その他	300	312	-12	96.1%
	コンテナ計	1,895	1,898	-3	99.9%
車 扱	石油	468	494	-26	94.6%
	セメント・石灰石	136	146	-10	92.9%
	車 両	74	75	-1	97.8%
	その他	55	64	-9	87.0%
	車 扱 計	733	779	-46	94.0%
合 計	合 計	2,628	2,677	-49	98.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）